

# 2023 年度 公益財団法人柳井正財団 事業計画書 (自 2023 年 9 月 1 日 至 2024 年 8 月 31 日)

当財団は社会課題に独自の方法でアプローチし、人々が自立して、互いに尊重し合い、豊かな生活を送ることができる社会づくりに貢献することを目的とする。

## 1. 2023 年度 公益目的事業の展開

- ① 公募型学校推薦方式については、昨年度から学校教育法一条校のみを対象にした応募条件を撤廃し、インターナショナルスクールや海外の高校からも応募できる学校推薦に変更し、地方及び公立高校も含め更なる応募者の増加を促進させる。日本および海外在住の多くの高校生が奨学金に応募できる機会を提供する。
- ② オンライン等を活用し、奨学金説明会を開催し、地方や海外に在住する日本国籍を保持する高校生にも、当財団の奨学金を周知できる広報活動を実施する。
- ③ 奨学生同士の対面イベントを開催し、アルumni組織の構築を検討すると共に、奨学生のコミュニティ活動の強化を図る。

### (1) 奨学生の募集活動

#### 【奨学生の募集活動スケジュール】

- 公募型学校推薦方式 (変更の場合は都度財団HP上にて通知)
  - 5 月 18 日～8 月 11 日 : 応募書類受付 (高校からの書類受付)
  - 7 月 7 日～8 月 11 日 : 財団HP内応募システム受付 (学生が応募)
  - 8 月 12 日～9 月 5 日 : 書類選考
  - 9 月 10 日 : 一次面接
  - 9 月 18 日 : 最終面接
  - 9 月 19 日～9 月 29 日 : 可否の通知
- 一般公募方式 (予定)
  - 12 月中旬～2 月上旬 : 財団HP内応募システム受付
  - 2 月上旬～4 月上旬 : 書類選考
  - 3 月上旬～4 月上旬 : 一次面接
  - 4 月中旬 : 最終面接
  - 4 月中旬～4 月下旬 : 可否の通知

### (2) 奨学生への奨学金の給付

#### 【奨学生人数及び奨学金給付額】

(千円)

	2023年度計画	奨学金支給人数
現3期生	33,750	7人中5人が半年分(11月支給分)、2人は支給完了
現4期生	192,375	26人中22人が半年分(11月支給分)、4人は1年分
現5期生	403,988	32人中31人が1年分、1人は今年度休学
現6期生	551,475	43人全員が1年分
現7期生	474,525	37人全員が1年分
(新) 8期生	256,500	40名 (2024年7月～) が半年分 ※予定
合計	1,912,613	

### (3) 奨学金給付事業を補足する活動

- ・ 外部選考補助者派遣費用 9,000 千円
- ・ 選考委員への報酬(2回) 1,200 千円
- ・ 募集広報活動、イベント費用 14,500 千円

## 2. 2023 年度その他事業の展開について

### (1) 留学希望者支援事業（留学フェローシップ）

- ① 海外大学での学びの魅力や意義を紹介、進路選択を主体的に考えるようになることを目的に、日本全国の中高生が参加できる留学キャラバンを開催する。
- ② 高校生が自らの人生を振り返り、留学生との対話の中でビジョンを描けるエッセイやアプリケーション作成のプロセスを重視する留学サマーキャンプを開催する。
- ③ 中高生の海外大学進学の前向きな活動で終わることがないように、エッセイ指導を強化し、トップ 60 大学への合格につなげる。

■ 留学フェローシップ支援金額：20,000 千円（年間）

### (2) 国際交流事業（Stanford e-Japan）

米国の社会や文化、日米関係について学ぶ機会を、関東以外の地方、公立高校の学生の参加拡大に努める。

■ Stanford e-Japan 支援金額：15,000 千円（年間）

なお、2023 年度において設備投資及び資金調達の見込はない。

## 3. 2023 年度法人運営について

### 【法人運営の年間スケジュール】

- 理事会 : 2023 年 10 月（予定）
- ・ 事業報告、計算書類等の承認
  - ・ 評議員会の開催について
- : 2024 年 7 月（予定）
- ・ 事業計画書および収支予算案などの決議
  - ・ 代表理事の職務執行報告
- 評議員会 : 2023 年 11 月 15 日（予定）
- ・ 事業報告、計算書類等の承認
  - ・ 理事、監事改選の選任

以上